

住宅改修が必要な理由書
<基本情報>

記入見本【ケアマネジャー・地域包括支援センター職員が作成する場合】

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	☐ 男 ☐ 女	作成者	現地確認日	年	月	日	作成日	年	月	日						
	被保険者氏名		要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護								所属事業所	〇〇ケアプランセンター												
	認定有効期間		年																	月	日	～	年	月	日	
	住所	荒川区																								
	現在の状況	・在宅 ・入院中 (病院) 月 日 退院予定 ・入所中 () 月 日 退所予定																								

保険者	確認日	年	月	日	評価欄	
	氏名					

<総合的状況> ・現地確認場所 (自宅 ・ 病院 ・ 施設 他) ・立会い有 (家族 介護支援専門員 P T 他)

利用者の身体状況	R5.10.1 自宅内で転倒し右大腿骨頸部骨折。入院し人工骨頭置換術後リハビリを行い R5.11.15 退院。室内は家具に掴まりながら移動。屋外は杖を使って、ゆっくりと歩行。ふらつきがあるため、見守りが必要。	福祉用具の利用状況と		
介護状況	骨折前より長男夫婦と同居。排泄と入浴は主に長男の妻が行っている。日中は長男夫婦が就労しているため独居。週1回デイサービスに通所中。	住宅改修後の想定	改修前	
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修により利用者・家族の日常生活をどのように変えたいと思っているか、またその効果について記載。 長男の妻の介助と見守りにより何とか生活できているが、生活動作や家事などを含め自分でできることはしていきたい。 転倒への不安があり、外出意欲の低下傾向にある。廊下・トイレ・浴室・玄関に手すりを設置することで安全性を確保し、身体的・精神的負担の軽減を図り、外出の機会を増やしたい。	●車いす	☐	改修後
		●特殊寝台	☐	☐
		●床ずれ防止用具	☐	☐
		●体位変換器	☐	☐
		●手すり	☐	☐
		●スロープ	☐	☐
		●歩行器	☐	☐
		●歩行補助つえ	☐	☐
		●認知症老人徘徊感知機器	☐	☐
		●移動用リフト	☐	☐
		●腰掛便座	☐	☐
		●特殊尿器	☐	☐
		●入浴補助用具	☐	☐
		●簡易浴槽	☐	☐
		●その他		

やむを得ない理由がある場合に限り、有資格者が上記作成者欄に記入を可能とする。その場合、介護支援専門員等に承諾・署名を得ること。

※理由書は原則として、介護支援専門員又は地域包括支援センター職員が作成すること。
やむを得ない理由により他の者が作成する場合は、作成者の所属事業所・氏名・資格を明記し、あわせて介護支援専門員等による署名（承認）を得ること。

介護支援専門員又は 事業所名
地域包括支援センター職員
署名

住宅改修が必要な理由書

(P 2)

< P 1 の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。 >

活動	①改善をしようとしている動作	② ①の具体的な困難な状況(…なので …で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックして上で、改修方針(…することで …が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 便器からの立ち座り(移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 手すりの取付け () () () () ()
入浴	☐ 浴室までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 浴室内での移動(立ち座りを含む) ☐ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ☐ 浴室の出入(立ち座りを含む) ☐ 浴室内での姿勢保持 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 段差の解消 () () () ☐ 引き戸等への扉の取替え () ()
外出	☐ 出入口までの移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 便器の取替え () () ☐ 滑り防止等のための床材の変更 () ()
その他の活動			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ その他 () () ()

住宅改修が必要な理由書
<基本情報>

記入見本【例外的にケアマネジャー・地域包括支援センター職員以外が作成する場合】

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	☐ 男 ☐ 女	作成者	現地確認日	年	月	日	作成日	年	月	日
	被保険者氏名		要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護								所属事業所	〇〇介護住宅センター						
	認定有効期間			年 月 日 ~ 年 月 日																
	住所	荒川区																		
	現在の状況	・在宅 ・入院中 (病院) 月 日 退院予定 ・入所中 () 月 日 退所予定																		

保険者	確認日	年	月	日	評価欄	
	氏名					

<総合的状況> ・現地確認場所 (自宅 ・ 病院 ・ 施設 他) ・立会い有 (家族 介護支援専門員 P T 他)

利用者の身体状況	R5.10.1 自宅内で転倒し右大腿骨頸部骨折。入院し人工骨頭置換術後リハビリを行い R5.11.15 退院。室内は家具に掴まりながら移動。屋外は杖を使って、ゆっくりと歩行。ふらつきがあるため、見守りが必要。	福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定 改修前 改修後	
介護状況	骨折前より長男夫婦と同居。排泄と入浴は主に長男の妻が行っている。日中は長男夫婦が就労しているため独居。週1回デイサービスに通所中。		
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修により利用者・家族の日常生活をどのように変えたいと思っているか、またその効果について記載。 長男の妻の介助と見守りにより何とか生活できているが、生活動作や家事などを含め自分でできることはしていきたい。 転倒への不安があり、外出意欲の低下傾向にある。廊下・トイレ・浴室・玄関に手すりを設置することで安全性を確保し、身体的・精神的負担の軽減を図り、外出の機会を増やしたい。	●車いす ●特殊寝台 ●床ずれ防止用具 ●体位変換器 ●手すり ●スロープ ●歩行器 ●歩行補助つえ ●認知症老人徘徊感知機器 ●移動用リフト ●腰掛便座 ●特殊尿器 ●入浴補助用具 ●簡易浴槽 ●その他	
やむを得ない理由がある場合に限り、有資格者が上記作成者欄に記入を可能とする。その場合、介護支援専門員等に承諾・署名を得ること。			

※理由書は原則として、介護支援専門員又は地域包括支援センター職員が作成すること。
やむを得ない理由により他の者が作成する場合は、作成者の所属事業所・氏名・資格を明記し、あわせて介護支援専門員等による署名（承認）を得ること。

介護支援専門員又は 事業所名 〇〇ケアプランセンター
地域包括支援センター職員
署名 介護 花子

住宅改修が必要な理由書

(P 2)

< P 1 の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。 >

活動	①改善をしようとしている動作	② ①の具体的な困難な状況(・・なので・・で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックして上で、改修方針(・・することで・・が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 便器からの立ち座り(移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 手すりの取付け () () () () ()
入浴	☐ 浴室までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 浴室内での移動(立ち座りを含む) ☐ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ☐ 浴室の出入(立ち座りを含む) ☐ 浴室内での姿勢保持 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 段差の解消 () () () ☐ 引き戸等への扉の取替え () ()
外出	☐ 出入口までの移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 便器の取替え () () ☐ 滑り防止等のための床材の変更 () ()
その他の活動			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ その他 () () ()